

輝け！シン尾花沢中

第62号

令和7年

7月10日

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

 タイトルデザイン
 教育指導室
 伊藤瑞稀さん

夢中になって学ぶ尾中生～第2回校内授業研究会～

7月8日（火）の4・5時間目に、県教育センター、村山教育事務所、北村山視聴覚教育センター、尾花沢市教育委員会の指導主事の先生（※我々教職員を指導してくださる先生）をお招きした授業研究会が行われました。

本校の校内研究では「見通しを持って主体的に学ぶ生徒の育成」を目標に掲げ、「授業の終わりに何ができるようになっていけばよいか」というゴールの姿のイメージを、教師と生徒が共有し、魅力ある、必要感や達成感がある、思考が深まる課題づくりを工夫しています。

■ 1年2組国語 どのような言葉・表現だと、もっと自分のイメージに近づくだろう

→最初は1人で考え、どうしても解決しない場合には、友達に相談するなどして、自身の必要感に応じて自己調整しながら学んでいた。自然と生まれるつぶやきもよかった。



■ 3年2組社会 「現在の日本」に大きな影響をあたえた出来事は何だろうか

→学びを積み上げながら、自分の立場を変容させたり進化させたり、生徒自ら学びを調整していた。



■ 2年1組数学 文字が3つある連立方程式は、どのようにして解くことができるのだろう

→日常的な題材により、生徒にとって自分事の課題となり、夢中になって取り組んでいた。



■ 2年2組英語 ルーブリックを意識して「My Dream」についての英作文をつくらう

→「将来、自分は何をしたいのか」について、マッピングなどを活用して、一生懸命考えていた。



■ 3年3組技術 情報をデジタル化することでの長所と短所は何だろう

→図を描いたり、デジタルの長所や短所を探したりすることに、夢中になって取り組んでいた。



まさに、目指す生徒像「学習：夢中になって学ぶ生徒」でした。

【文責：校長 工藤雅史】